

単元観

本単元は、学習指導要領の「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。」という目標を受けて実践するものである。中学校段階では、小学校での学びの連続性を図りつつ、高等学校の目標・内容の高度化に向けた基礎を培う観点から、発達段階に応じた、より具体的で身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を4技能統合させて養う。

本単元は、自分の体験や知識と結びつけて価値を判断したり、学んだ言語材料(既習表現、新出文法の can 及び when)を用いて自分の考えや意見を表現したりしていくなどの実際の言語使用の場面を設定することにより、聞き手や読み手として主体的に考えながら理解し、話したり書いたりして自分の考えを表現する活動を充実させることができる単元である。また、グローバル化が進む中で、習得した知識や技能を使って「英語」で何ができるようになり、それらをどのように使い、社会と結びつけていくか考えることのできる大変有意義な単元でもある。

「一中におけるコンピテンシー」

本単元では、本校が設定している4つのコンピテンシーのうち「コミュニケーション能力」と「自律的活動能力」を育成していく。

「コミュニケーション能力」を設定した理由は、文法事項を学習する際、個々で表現したもの(書くこと)をもとに、グループで話し合い(協働)、他者の意見を取り入れ自己の表現を修正する活動を行うことができるからである。また、「自律的活動能力」を設定した理由は、パフォーマンス課題に対し、目的意識を持ち、主体的に取り組める活動(英語を使って自分に係ることについて伝えたいと思える)を仕組むことができるからである。

こうしたことから、「一中におけるコンピテンシー」のうち「コミュニケーション能力」と「自律的活動能力」の育成に有効な単元であると考えられる。

～学習内容の関連(系統性)～

小学校6年生	小学校6年生	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生	高等学校
Hi, friends!② Lesson2 (When is your birthday?)	Hi, friends!② Lesson3 (I can swim.)	New Horizon① Unit10 (観光地から)	New Horizon② Unit4 (Homestay in the United States)	New Horizon③ Speaking Plus2 (食事の会話)	助動詞

生徒観

本学級の生徒に、平成27年度「基礎・基本」定着状況調査の「つながりのある英文を書く問題」を実施し、類型別に分析したところ、次のような結果が出た。(平成28年1月中旬)

正答○, 準正答△ 誤答, 無回答—	誤答類型	%
類型1 ○	示された情報について、文法的に正しく2文書いている。	27%
類型2 △	類型1において、内容を理解する上で支障のない誤り(綴りの誤り、大文字、小文字の誤り、動詞の原形の誤り、動詞の三人称単数形の誤り、符号の誤り等)が、1～2か所ある。	45%
類型3 ×	類型1において、内容を理解する上で支障のない誤りが、3か所以上ある。	15%
類型4 ×	示された情報について、文法的に正しいが、1文しか書いていない。	3%

類型5	×	年齢に関して誤りがある。年齢に関して問題の指示と異なる表記をしている。	0%
類型6	×	上記以外の解答	4%
類型7	—	無回答	6%

準解答(類型2)の生徒で特に多かった間違いは、動詞の原形、動詞の三人称単数形、及び複数形だった。本学級の生徒の多くに、綴りや文法が定着していないという課題が見つかった。

また、同調査の生徒質問紙調査を実施した。以下はその結果である。

内容	あてはまる			あてはまらない		
	よく	やや	計	計	あまり	まったく
英語の授業では、英語で文章を書くときには、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文正しく書くとともに、文と文のつながりに注意しています。	35%	45%	80%	20%	17%	3%

文章を書く際には、80%の生徒が文と文のつながりを意識していることがわかった。以前学習した Multi Plus1「自己紹介」でまとまりのある文について学習したことが有効的だったと考えられる。

「一中におけるコンピテンシー」

本学級の生徒の「一中におけるコンピテンシー」のうち「コミュニケーション能力」と「自律的活動能力」についてアンケート調査を行った結果は次の通りである。

「コミュニケーション能力」

1 【問】 生活の中で友達の意見を参考にすることがありますか。

【答】 はい(96.7%) <友達の意見が参考になったとき>

- ・自分の苦手なところを指摘されたとき。 ・わからないところを教えてもらったとき。
- ・勉強がわからないとき。 ・友達の意見の方が納得できるとき。 ・友達の発表を聞くとき。
- ・自分が発表するとき。 ・班やクラスで話し合うとき。
- ・上手なノートの使い方をしている友達のアドバイスを真似てみようと思ったとき。
- ・英語の授業で英作文の後の意見交流をするとき。 ・部活でアドバイスをもらったとき。 など

【答】 いいえ(3.3%) <参考にしない理由>

- ・自分なりにやりたいから。

自信がないときや、自分の意見が間違っているときに他人の意見を参考にしていることがわかった。自分の意見と他者の意見を比較し判断した上で、自己の修正には至っていないこともあるため、「コミュニケーション能力」が十分に身につけているとは言えない。

「自律的活動能力」

1 【問】 夢の実現にむけて努力していますか。 【答】 はい(70.9%)・いいえ(29.1%)

2 【問】 夢を実現するために何をすることがそれにつながると感じますか。

【答】 ・勉強をする。 ・努力する。 ・毎日練習する。 ・本を読む。 ・人に聞いて学ぶ。
・良い成績を取る。 ・理系の職業に就きたいから数学や理科をがんばる。
・英語の授業をがんばる。 ・提出物を出す。 ・今やっている勉強を特にがんばる。 ・部活を頑張る。
・係りの仕事などを1つ1つやりきる。 ・小さなことでもがんばる。 ・日々の努力を忘れない。
・なりたい職業について調べる。 ・人にやさしくする。 など

3 【問】 苦手教科の具体的な勉強方法について。 【答】 わかる(70.9%)・わからない(29.1%)

夢や目的の設定に対しどうすればよいかわかっていない生徒や、わかっていても実行に移せていない生徒がいることがわかった。つまり、「自律的活動能力」が十分に身につけているとはいえない。

指導観

まずは、表現活動の基盤となる語彙や文構造(can や when)の知識の定着を図るドリル学習や英作文を徹底的に行う。上記のレディネステスト(書くこと)において、準解答の生徒が半数ほどを占めることから、小さなつまづきをなくし間違いを理解させる取組みを大切にする。また、誤答や無回答の生徒については、音読と「書くこと」をセットにし、習得させる。

次に、パフォーマンス課題を設定し、新出文法や言語材料を4技能をバランスよく取り入れるという形で授業を展開していく。知識や理解を深める言語活動から、気持ちや考えを伝え合う言語活動へつなげ、自分(の内面)を語ること(「話すこと」、「書くこと」)の楽しさを実感させて表現力をつける。

具体的には、パフォーマンス課題(問題の見出し→見通しの発想→立案と実行→検討→過程の振り返り)を達成するために、本題材の観光案内を参考に、その中の表現を使って、生徒が自分たちで府中市の観光案内ができるように、「触れる(聞く)」「慣れる(繰り返す)」「自分のものにする(自信をもつ)」「使う(場面に応じて言葉を選ぶ)」を展開する。

こうした活動を毎時間仕組むことで、本単元の最後には、英語を使って「自分たちの町を人に紹介できるようになった」と感じられるようにしたい。

「一中におけるコンピテンシー」

「コミュニケーション能力」

- ・自己の表現が更に良いものとなるように友達の意見を参考にさせるという「手立て」により、修正するという「すべ」を育成する。
- ・一人ずつイラストを説明させた上でグループで順番を考えさせるという「手立て」により、協働という「すべ」を育成する。その際、わからないことが「わからない」と言える雰囲気作りや、理解した内容をお互いが説明し合う場の設定を行う。

「自律的活動能力」

- ・府中市をどのようにアピールすれば外国人観光客に興味を持ってもらえるかを、具体的な表現や発表の仕方を考えて実行させるという「手立て」により、「何を」「どのように」という「すべ」を育成する。
- ・活動前にゴールやその過程のイメージを持たせるという「手立て」により、見通しを持つという「すべ」を育成する。
- ・総合的な学習の時間に学んだこと等を用いて、郷土を大切に思う心に触れさせ、府中市をアピールするという「手立て」により、「価値づけ」という「すべ」を育成する。

単元の目標

- 新出文法である can や when を用いて、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうとする。(コミュニケーションへの関心・理解・態度)
- 与えられたサンフランシスコの観光案内を参考にして、府中市をアピールするような観光案内を行うことができる。(表現の能力)
- 新出文法が含まれている文を聞いたり、読んだりして、その内容を理解できる。(理解の能力)
- 新出文法 can や when の文の構造を理解する。(言語に関する知識・理解)
- サンフランシスコ市内の様子や観光名所などについて知る。(文化に関する知識・理解)
- ★**コミュニケーション能力**:協働することを通して、友達の意見を取り入れながら、自己の英文を修正することができる。
- ★**自律的活動能力**:外国人観光客に府中市に興味を持ってもらうために、主体的に府中市をアピールすることができる。

指導と評価の計画

(1) 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①can や when を用いて、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。 ②教科書から町や観光地を案内にするときに使われている表現や助動詞 can を積極的に探している。 ③「おもてなしin府中」を「どのように」アピールすれば良いか英文を考えている。	①できることとできないこと(可能・能力)について、述べることができる。 ②あることができるかどうかたずねたり、それに答えたりすることができる。 ③ can を使った英文を入れ、物語の順番を考えることができる。 ④書かれた内容を考えながら、その内容が表現されるように音読することができる。 ⑤「いつ…？」と時期についてたずねたり、それに答えたりすることができる。 ⑥即興でキーワードをポイントに「おもてなし in 府中」をアピールすることができる。	①語句や表現、文法事項(can)などの知識を活用して、サンフランシスコ市内交通事情について読み取ることができる。 ②会話の中からゴールデン・ゲイトブリッジとその名前の由来について聞き取ることができる。 ③ヨセミテ国立公園での会話について聞き取ることができる。	①助動詞canを用いた文(肯定文・否定文・疑問文)の形・意味を理解している。 ②When…？の対応の形・意味を理解している。 ③町や観光地を案内などの、「話すこと」の言語活動に必要な背景について理解している。

(2) 単元指導計画(全13時間)

次	学習内容	評価				「一中における コンピテンシー」
		関 意 態	表 現	理 解	知 識 理 解	評価規準 (評価方法)
1 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・can を用いた英文を聞くことを通して can の使い方を理解する。 ・can を用いた文構造を理解する。 ・can を用いた英文を使えるように練習する。その際、クイズ形式で動物のできることとできないことを表現する。 	○	◎		○	エ①助動詞canを用いた文(肯定文・否定文・)の形・意味を理解している。 イ①できることとできないこと(可能・能力)について、述べることができる。 ア①can や when を用いて、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。
2 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文から、町や観光地を案内する時に使われる表現を探す。 ・教科書本文を通して、サンフランシスコでできることとできないこと、またその理由を知る。 ・登場人物になりきり、音読を行う。 <div>課題発見</div>	○		◎		ア②教科書から町や観光地を案内にするとときに使われている表現や助動詞 can を積極的に探している。 ウ①語句や表現、文法事項(can)などの知識を活用して、サンフランシスコ市内交通事情について読み取ることができる。 イ④書かれた内容を考えながら、その内容が表現されるように音読することができる。
<div>パフォーマンス課題</div> <p>広島県に海外から外国人観光客が来ることになりました。彼らは、no plan で広島空港へ来ています。県内の各市町村のために、空港で3分間のアピールタイムが設けられています。皆さんは府中市の代表として、「おもてなし in 府中」と題し、府中市の良さを伝えられるように英語でアピールして下さい。</p>						

3 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・あることができるかどうか尋ねたり, それに答えたりする。 ・会話の中からゴールデン・ゲイトブリッジとその名前の由来について知る。 ・登場人物になりきり, 音読を行う。 		◎			<p>イ②あることができるかどうかたずねたり, それに答えたりすることができる。</p> <p>ウ②会話の中からゴールデン・ゲイトブリッジとその名前の由来について聞き取ることができる。</p> <p>イ④書かれた内容を考えながら, その内容が表現されるように音読することができる。</p>	
4 (1時間)	<p>(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can を用いた文とその応答の形・意味・用法(肯定文・否定文・疑問文)を理解する。 ・助動詞 can を用いて, 場面にあった絵本の英文を書く。 				○	<p>エ①助動詞can, cannot を用いた文(肯定文・否定文・疑問文)の形・意味を理解している。</p> <p>イ①できることとできないこと(可能・能力)について, 述べることができる。</p> <p>イ③can, cannot を使った英文を物語の順番を考えることができる。</p>	コミュニケーション能力
5 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつ…?」と時期についてたずねたり, それに答えたりする。 ・When…? の対応の形・意味・用法を理解する。 ・when を用いて, 積極的にコミュニケーションの取り組む。 	○	◎		○	<p>イ⑤「いつ…?」と時期についてたずねたり, それに答えたりすることができる。</p> <p>エ②When…? の対応の形・意味を理解している。</p> <p>ア①when を用いて, 積極的にコミュニケーションの取り組みようとしている。</p>	

6 (2時間)	情報の収集・整理・分析 ・ヨセミテ国立公園での会話について知る。 ・登場人物になりきり、音読を行う。 ・街や観光地を案内する時の表現をまとめる。			○	ウ③ヨセミテ国立公園での会話について聞き取ることができる。 イ④書かれた内容を考えながら、その内容が表現されるように音読することができる。 ◎ エ③町や観光地を案内などの、「話すこと」の言語活動に必要な背景について理解している。	
7 (1時間)	整理・分析 ・「おもてなし in 府中」の準備・練習を行う。	◎			ア③「おもてなしin府中」を「どのように」アピールすれば良いか英文を考えている。	自律的活動能力 (「何を」「どのように」するか考え、見通しを持ち活動すること)
8 (1時間)	振り返り ・「おもてなし in 府中」をアピールする。		◎		イ⑥即興でキーワードをポイントに「おもてなしin府中」をアピールすることができる。	自律的活動能力 (活動の目的や価値を考えて、主体的に活動すること)

本時の学習

(1) 本時の目標

can, cannot を使った英文を正しく書くことができ、それらを用いて物語の順番を考えることができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準・評価方法 ○教科 ★「一中におけるコンピテンシー」
1 ウォーミングアップ(10分)		
・歌を歌う。 ・あいさつをする。 ・音読をする。 ・can の形・意味・用法を確認する。 ・ペアワークをする。	◇今月の歌“Dragon Night”を元気よく歌わせる。 ◇テンポよくあいさつをさせる。 ◇感情を込めて音読をさせる。 ◇can の文法事項を確認させる。 ◇can の使用場面を確認させる。 ◇即興性を大切にさせる。	
2 言語活動(絵本を作成する。)(個人思考)(10分)		
・絵本「アレンが府中でできること」の英文を作成する。	◇タイトルを説明する。 ◇絵本の絵の説明をする。 ◇絵本の導入と終末を意識させる。	

<p>・本時のめあての確認をする。</p>	<p>【めあて】 can, cannot を使った英文を正しく書くことができる。 ストーリーを考えながらイラストを並べることができる。(後半提示)</p> <p>◇一人に1枚イラストを配り(4人班でそれぞれが異なるもの) can を使った英文を考えさせる。</p> <p>◇既習事項の確認を行う。 can のあとは動詞の原形, 3人称単数, 助動詞 be 動詞と一般動詞の使い分け 代名詞 文の文のつながり</p> <p>◆日本語では主語が省略されることから, 「私たち」, 「あなたち(あなた)」などの主語を補うようにアドバイスを行う。 「府中市ではお好み焼きが食べれるよ」 × Okonomiyaki can eat. × Fuchu can eat okonomiyaki.</p> <p>◇わからない表現においては辞書を引かせる。</p> <p>◇「おもてなし in 府中」で活用できる英文にする。</p> <p>◆動詞について注意喚起をする。 × He can play swim. × He can is swim.</p>	
<p>3 言語活動(絵本の交流をする。)【他者と意見交流】(15分)</p>		
<p>・ペアで意見の交流をする。</p> <p>・グループで意見の交流をする。</p>	<p>◇互いのイラストを交換し, 表現の仕方について総合評価をさせる。</p> <p>◇友達の英文にコメントを書かせる。不自然な表現については, なぜ間違っているか理由を書かせたり, アンダーラインを引いたりさせる。必ず一言コメントを書くようにさせる。</p> <p>◇自分の表現と比較しながら, 修正させる。同じ紙を数枚配布し, 消しゴムを使わせない。(学びの過程がわかるようにホッチキス止め)</p> <p>◇物語の順番を考え, ペンで記入させる。</p> <p>◆cannot の文章に注目させる。接続詞や代名詞についてのヒントも与える。</p>	<p>★話し合いの中で, 他人の意見を取り入れ, 自分の表現を修正している。(机間指導, ワークシート)</p> <p>★互いの意見を参考に協働してイラストを並べかえている。(机間指導, ワークシート)</p>
<p>「すべ」</p>	<p>「手立て」</p>	
<p>・自己のものを修正する。</p> <p>・仲間と協働する。</p>	<p>◇自己の表現が更に良いものとなるように友達の意見を参考にさせる。</p> <p>◇個々のイラストを考えて組み合わせないとストーリーが出来ないように仕組む。</p> <p>◆わからないことが「わからない」と言える雰囲気作りや, 理解した内容を互いに説明し合う場を設定する。</p>	<p>○できることとできないこと(可能・能力)について, 正しく書くことができる。 (イ①)</p> <p>○それらを用いて物語の順番を考えることができる。 (イ③) (机間指導, ワークシート)</p>
<p>・他のグループの作品を読む。</p>	<p>◇自由に教室内を移動し, 他の作品を読ませる。</p>	

4 本時のまとめをする。(5分)		
・ALT の作品と比べる。	◇ストーリーを確認させる。 ◇助動詞 can の使い方を確認させる。 ◇同じイラストでもいろいろな表現ができることを確認させる。	
5 本時を振り返り、次時につなげる。(10分)		
・本時の振り返りを文章で記述する。	◇振り返りシートに記入させる。	
<p><振り返りの問い></p> <p>・班での学習 (can を使って英文を書いたり, 物語の順番を考えたりするとき) であなたが役立てたことや友達の意見で参考になったことはありますか。</p> <p>【振り返りの例】</p> <p>・友達が助動詞の後に動詞を 2 つ書いていることを教えてくれた。</p> <p>・主語を全て名前にしていたが, 友達の意見を聞いて2回目以降は代名詞にすればいいことに気がついた。</p> <p>・同じイラストでもいろいろな表現や話があっっておもしろいと思った。</p> <p>・ but などの接続詞を使うと, よりストーリー性が出ることがわかった。</p>		

(3) 本時の板書計画

<p>Friday, February nineteenth sunny</p> <p>Goal: <u>can, cannot を使った英文を正しく書くことができる。</u> <u>ストーリーを考えながらイラストを並べることができる。</u></p>	
<p>広島県に海外から外国人観光客が来ることになりました。彼らは, no plan で広島空港へ来ています。県内の各市町村のために, 空港で3分間のアピールタイムが設けられています。皆さんは府中市の代表として, 「おもてなし in 府中」と題し, 府中市の良さを伝えられるように英語でアピールして下さい。</p>	<p>形: can + 動詞の原形 意味: ～することができる 否定文: cannot</p>
<p>Alan <u>can</u> do it in Fuchu.</p>	<p>・ can play swim. ←×</p> <p>・ He cannot meet <u>his</u> family.</p> <p>・ 代名詞</p> <p>・ 接続詞 but</p> <p>・ 動詞 (meet / eat)</p>

